

公益社団法人 日本ライフル射撃協会

指導者資格認定制度

NRAJ COACH LICENSE

2016年4月1日

この制度は、2020年に日本で開催される東京オリンピックに出場しメダル獲得を目的とし、一貫育成システムに基づいたコーチングを行う為に制定する。現在、日本で取得できるライフル種目の公認コーチ制度は日本体育協会が主体となっており、国体を頂点とした講義内容となっている。今回、この制度では、公認コーチ講習会をベースに、低年齢選手の育成段階から国際レベルを見据えたコーチングを行う内容を取り入れ、ISSFコーチライセンスの取得を推進するもので、レベル毎に選手のニーズに応じたサポートの展開を行うことを目的としている。協会事業として実施する合宿、競技会派遣に参加するコーチは本コーチライセンス取得者に限られ、規定により手当が支払われる。協会統一基準のコーチライセンス制度導入によって、日本ライフル射撃界全体がレベルアップすることを目指す。尚、ライセンス登録者へはコーチライセンス証(写真入り)が付与されるとともに会員に公表される。

A コーチライセンス

オリンピックでのメダル獲得を目標として活動するナショナルチーム選手のコーチングを行う為の指導者資格。資格取得者の中から、海外遠征の帯同コーチを選任する。国際大会での選手サポートを最大目的とした資格である為、射撃技術の指導に留まらず、オリンピックムーブメント・英会話・チームマネジメント等総合的なスキルを身につけるカリキュラムとなっている。

概要	<ol style="list-style-type: none">1. 集中講義(2日間×2回)を受講後、試験(筆記・実技・プレゼン・実習)実施。2. 講義内容:オリンピックムーブメント、アンチドーピング、ニュートリション、メンタルメソッド、フィジカルトレーニング、英会話(英検準1級、TOEFL70、TOEIC600~700程度)プレゼンテーション、射撃コーチングスキル、ディスカッション、チームマネジメント、コンプライアンス、情報分析、遠征実習。3. 面接(強化本部長、選手強化委員長、専務理事)
受講資格	<ol style="list-style-type: none">1. 養成講習会受講時に満27歳以上の者で年間150日以上指導にあたる者。2. 1の条件を満たし、かつ本制度Bクラスコーチライセンス・ISSFアカデミーコーチコースBクラス取得者で協会から指名されたもの。
受講料	20,000円
受講定員	隔年5名程度(ライフル、ピストル合計)
登録料	年度毎に10,000円(4年毎の更新時にリフレッシュ研修受講)

B コーチライセンス

ナショナルチーム(日本代表)選手またはナショナルチーム活動を目標とするMPA選手の育成・強化を行うコーチの資格。コーチングスキルのレベルアップを目的に実際に選手への指導を行うカリキュラム。ライフル射撃競技の全体像を理解した上で、知識・指導力を習得する。資格取得者は選手と共にナショナルチーム合宿、MPA合宿への帯同が認められる。

概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 集中講義(2日間×2回)を受講し後、試験(筆記・実技・プレゼン)実施。 2. 講義内容: アンチドーピング、ニュートリション、メンタルメソッド、フィジカルトレーニング、英会話、プレゼンテーション、コーチング、ディスカッション、銃器取扱、危害予防、協会の歴史、メディア対応、コーチング実習。 3. 面接(選手強化委員長、MPA 専門部会長、専務理事)
受講資格	<ol style="list-style-type: none"> 1. 養成講習会受講時に満25歳以上の者で、年間100日以上指導にあたる者。 2. 1の条件を満たし、かつ本制度Cクラス取得者、またはISSFアカデミーコーチコースCクラス取得者、またはJOCナショナルコーチアカデミー修了生、または日本体育協会公認上級コーチ、JPCコーチの資格者、のうち5年以上の指導実績を有する者。 3. 1. 2の条件を満たし、原則空気銃または装薬ライフル銃所持者、空気けん銃または装薬けん銃所持者であり段級所持者。 <p>* ISSFアカデミーコーチコースCクラス取得者、JOCNCA修了生、日本体育協会公認上級コーチ資格者については免除科目あり。</p>
受講料	10,000 円
受講定員	隔年10名程度(ライフル、ピストル合計)
登録料	年度毎に 5,000 円 (3 年毎の更新時にリフレッシュ研修受講)

C コーチライセンス

MPAを目指している選手(特に低年齢者18歳未満)の育成にあたるコーチの資格。ライフル射撃競技全般における基礎知識を習得したうえで、法令を理解・遵守し、常時、安全に競技銃を取り扱い、また、選手への安全遵守、並びに技術指導を行うことを重点的に学ぶ。

概要	<ol style="list-style-type: none"> 1.集中講義(2日間×2回)を受講し後、試験(筆記・実技・プレゼン)実施。 2.講義内容: 銃刀法全般、競技ルール全般、銃器安全取扱、危害予防、協会の歴史アンチドーピング、栄養学、心理学、フィジカルトレーニング、コーチング、ディスカッションプレゼンテーション、メディア対応。
----	--

<p>受講資格</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 養成講習会受講時に満22歳以上で実技経験または指導経験3年以上の者 で年間50日以上指導にあたる者。 2. 1の条件を満たし、原則空気銃・空気けん銃、装薬ライフル銃所持者であり段級所持者、または年少射撃資格者の為の射撃指導員。 3. 1. 2の条件を満たし各都道府県ライフル射撃協会または加盟団体が推薦する者。 4. 1. 2. 3の条件を満たす者、または、2の条件を満たし以下の資格を一つ以上を有する者。 日本体育協会公認コーチ、射撃指導員、日ラ公認審判員、ISSF国際審判員、ISSFコーチライセンス、JOCナショナルコーチアカデミー修了生(JOC NCA)、障害者中級指導員。
<p>講義内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 集中講義(2日間×2回)を受講後、試験(筆記・実技、面接) 2. 講義内容は以下の通り。銃刀法全般、競技ルール全般、銃器安全取扱、危害予防、協会の歴史、アンチドーピング、栄養学、心理学、フィジカルトレーニング、コーチング、ディスカッション、コンプライアンス。
<p>受講料</p>	<p>10,000 円</p>
<p>登録料</p>	<p>年度毎に 2,000 円(3 年毎の更新時にリフレッシュ研修受講)</p>

2016NRAJ 認定 C 級コーチライセンス取得希望者募集

(新)資格制度に基づき、日本ライフル射撃協会認定 C 級コーチライセンス取得のための講習会を開催します。この日ラ認定 C 級コーチライセンスは今後、NT・MPA 選手への指導、合宿や海外大会派遣時の帯同コーチに必要となる B 級、A 級ライセンスの資格研修の受講資格となります。

また、銃刀法改正による 10 歳からの低年齢選手指導の射撃指導員資格取得の必要条件となりますので、今後指導者を目指す方が応募してください。

尚、本資格は、国民体育大会監督の必要条件となっている公認コーチ(日本体育協会資格)とは全く別の資格で日ラ独自の制度です。各加盟団体事務局から、公認コーチ、射撃指導員、公認審判員、国際審判員の資格者の方へのご周知をお願いします。

* 受講要件をご確認ください。

コーチライセンス取得希望者の方は、以下の受講資格をご確認いただき、別紙①にご記入の上メールで資格取得の意志を日本ライフル射撃協会までご連絡下さい。

《前期講義》

日時:2016年10月8日(土)13:00 集合～9日(日)16:30 解散

場所:フォーラム8(東京都渋谷) 研修室(予定)

東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大衆ビル

Tel:03-3780-0008

《後期講義》

日時:2017年2月11日(土)～12日(日)

場所:フォーラム8(東京都渋谷) 研修室(予定)

《受講資格》

1. 養成講習会受講時に満22歳以上で実技経験または指導経験3年以上の者で年間 50 日以上指導にあたるもの。
2. 1の条件を満たし、原則空気銃または装薬ライフル銃所持者、空気けん銃または装薬けん銃所持者であり段級所持者、または年少射撃資格者の為の射撃指導員。
3. 1. 2の条件を満たし、各都道府県ライフル射撃協会または加盟団体が推薦する者。
4. 1. 2. 3の条件を満たす者。または2の条件を満たし、以下の資格を一つ以上有

する者。

日本体育協会公認コーチ、射撃指導員、公認審判員、ISSF国際審判員
ISSFコーチライセンス、JOCナショナルコーチアカデミー(JOCNCA)修了
障害者中級指導員

《講義内容》

1. 集中講義(2日間×2回)を受講後、試験(筆記・実技)実施。
2. 講義内容:銃刀法全般、競技ルール全般、銃器安全取扱、危害予防、協会の歴史、アンチドーピング、栄養学、心理学、フィジカルトレーニング、コーチング、デスクッション、コンプライアンス、メディア対応。

《受講料》

¥10,000- (前期受付時に徴収します)

* 移動・宿泊は各自手配をお願いいたします。

* 受講資格により講義の一部が免除になります。

日体協上級コーチ・JOCNCA 修了生・ISSF コーチライセンス・日ラ海外派遣コーチ

◎申し込み先

公益社団法人 日本ライフル射撃協会 事務局
協会メール rifle@japan-sports.or.jp

◎受講希望者が多い場合、調整させていただきます。

◎締め切り

2016年7月30日(金)

2016NRAJ 認定 B 級コーチライセンス取得希望者募集

(新)資格制度に基づき、日本ライフル射撃協会認定 B 級コーチライセンス取得の
為の講習会を開催します。この日ラ認定 B 級コーチライセンスは今後、NT・MPA 選
手への指導、合宿や海外大会派遣時の帯同コーチに必要なライセンスの資格研
修の受講資格となります。

今後世界を目指す指導者を目指す方が応募してください。

尚、本資格は、日ラ独自の制度です。

* 受講要件をご確認ください。

コーチライセンス取得希望者の方は、以下の受講資格をご確認いただき、別紙②
にご記入の上メールで資格取得の意志を日本ライフル射撃協会までご連絡下さい。

《前期講義》

日時:2016年10月8日(土)13:00 集合～9日(日)15:00 解散

場所:フォーラム8(東京都渋谷) 研修室(予定)

東京都渋谷区道玄坂 2-10-7 新大衆ビル

Tel:03-3780-0008

《後期講義》

日時:2017年2月11日(土)～12日(日)

場所:味の素ナショナルトレーニングセンター又は国立スポーツ科学センター(予定)

《受講資格》

1. 養成講習会受講時に満25歳以上の者で、年間 100 日以上指導にあたるもの。
2. 1の条件を満たし、かつ本制度のC級ライセンス、ISSFトレーニングアカデミーC
級ライセンス、JOCナショナルコーチアカデミー修了生、または日本体育協会公認
上級コーチ、JPC コーチの資格者、のうち3年以上の指導実績を有する者。
3. 1. 2の条件を満たし、原則空気銃または装薬ライフル銃所持者、空気けん銃また
は装薬けん銃所持者であり段級所持者。

《講義内容》

1. 集中講義(2日間×2回)を受講後、試験(筆記・実技・プレゼン・英会話)実施。
2. 講義内容 アンチドーピング、ニュートリション、メンタルメソッド、フィジカルトレー
ニング、英会話、プレゼンテーション、コーチング、デスクッション、銃器取扱、危害
予防、協会の歴史、メディア対応。

3. 面接 選手強化委員長、MPA専門部会長、専務理事

《受講料》

¥10,000-（前期受付時に徴収します）

*移動・宿泊は各自手配をお願いいたします。

*受講資格により講義の一部が免除になります。

日体協上級コーチ・JOCNCA 修了生・ISSF コーチライセンス・日ラ海外派遣コーチ

◎申し込み先

公益社団法人 日本ライフル射撃協会 事務局

協会メール rifle@japan-sports.or.jp

◎受講希望者が多い場合、調整させていただきます。

◎締め切り

2016年7月30日(金)

NRAJ認定 C級コーチライセンス受講 申込書①

(ふりがな) _____ 2016年 月 日

■氏名 _____ 男・女

■住所 (〒 _____) (Eメール _____)

■生年月日 昭和・平成 _____ 年(西暦 _____ 年) 月 日

■日ラ会員ID _____

■所属加盟団体名 _____

(推薦団体名) _____ (会長名) _____ 印

■射撃歴

AR	年	取得段級・種目	段/級
SB	年	取得段級・種目	段/級
AP	年	取得段級・種目	段/級
装薬ピストル	年	取得段級・種目	段/級

■指導歴 _____ 年

(主な指導場所) _____

選手名 (_____)

■受講資格 (以下当てはまるものに○を付けて下さい)

・日本体育協会公認コーチ (取得年) _____ 年

上級コーチ (取得年) _____ 年

・射撃指導員 (県名) _____

・日本ライフル協会公認審判員 (取得年) 地方 _____ 年

中央 _____ 年

・ISSF国際審判員 (取得年) _____ 年 (級)

・ISSFコーチライセンス (取得年) _____ 年 (級)

・JOCNCA修了 (取得年) _____ 年 (期生)

・障害者指導員 (取得年) _____ 年 (級・コーチ)

・その他 (公的機関での資格) _____

7月30日迄必要事項を記入の上、日ラ事務局の下記まで送付のこと。

協会メール: rifle@japan-sports.or.jp

NRA J認定 B級コーチライセンス受講 申込書②

(ふりがな) _____ 2016年 月 日

■氏名 _____ 男・女

■住所 (〒 _____) (Eメール _____)

■生年月日 昭和・平成 _____ 年(西暦 _____ 年) 月 日

■日ラ会員ID _____

■所属加盟団体名 _____

(推薦団体名) _____ (会長名) _____ 印

■射撃歴 AR _____ 年 取得段級・種目 _____ 段/級
SB _____ 年 取得段級・種目 _____ 段/級
AP _____ 年 取得段級・種目 _____ 段/級
装薬ピストル _____ 年 取得段級・種目 _____ 段/級

■指導歴 _____ 年

(主な指導場所) _____

選手名(_____)

■海外遠征歴 _____ 年 大会名(_____)

_____ 年 大会名(_____)

■受講資格(以下当てはまるものに○を付けて下さい)

・NRA J認定C級コーチ(取得年) _____ 年(登録番号) _____)

・日本体育協会公認コーチ(取得年) _____ 年

上級コーチ(取得年) _____ 年

・射撃指導員(県名) _____

・日本ライフル協会公認審判員(取得年) 地方 _____ 年

中央 _____ 年

・ISSF国際審判員 (取得年 _____ 年 級) _____
(出役年 _____ 年 大会名 _____)

(出役年 _____ 年 大会名 _____)

(出役年 _____ 年 大会名 _____)

・ISSFコーチライセンス(取得年 _____ 年 _____ 級)

・JOCNCA修了(取得年 _____ 年 _____ 期生)

・障害者指導員(取得年 _____ 年 _____ 級・コーチ)

・その他(公的機関での資格) _____

7月30日迄必要事項を記入の上、日ラ事務局の下記まで送付のこと。

協会メール: rifle@japan-sports.or.jp